



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第12号
(10月4日～10月25日)

平成29年10月3日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

樹上選果マン



ジョナゴールドの熟度は3日程度早い!
収穫は有袋果で10月10日頃、無袋果で10月12日頃から!!
風害防止対策を万全に!!!

I 要約

10月1日現在、ジョナゴールド（無袋）の熟度の進みは平年より3日程度早まっていることから、収穫始めは、黒石中心で、有袋果が10月10日頃、無袋果が10月12日頃と見込まれる。

高品質りんご生産のために、肥大や形が悪い果実のほかに、病虫害被害果や障害果などを摘み取る。

果実疫病を発生させないため、果実に泥が付着しないように注意する。反射シートを片づける際に土を飛散させたり、降雨時の収穫や収穫果の野積みをしない。台風や低気圧による強風被害に備え、風害防止対策に万全を期す。

II りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

10月1日現在、果実肥大は、地域や品種によるバラツキがみられるものの、概ね平年並みから平年を上回っている。

果実肥大 (単位：cm、%)

地 域	年	ジョナゴールド	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	9.2	8.7
	平 年	9.0	8.5
	前 年	9.1	8.3
	平年比	102	102
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	8.8	8.9
	平 年	8.8	8.4
	前 年	9.1	8.3
	平年比	100	106
板柳町高増 (西北地域県民局)	本 年	9.1	8.8
	平 年	9.3	8.4
	前 年	9.7	8.8
	平年比	98	105
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	8.4	8.7
	平 年	8.8	8.2
	前 年	8.6	8.3
	平年比	95	106

(2) 果実熟度

ア ジョナゴールド (無袋)

10月1日現在、平年値と比較して、糖度はやや高く、酸度、ヨード反応指数及び着色指数は同程度、硬度は低い。総合的にみて、熟度は平年より3日程度進んでいると見込まれる。

ジョナゴールド (無袋) の熟度の進み (10月1日現在)

地 域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応
黒 石 (りんご研)	本年	322	1.8	14.9	13.5	0.551	2.9
	平年	321	1.6	16.3	13.0	0.561	2.9
	前年	328	1.0	16.2	13.1	0.508	3.0

注) 1 平年：1996年～2015年までの20年平均

2 着色指数：0～5 大きい数値ほど着色良好

3 ヨード反応：0～5 小さい数値ほどでんぷんが少ない

イ ふじ

10月1日現在、有袋ふじは、平年値と比較して、糖度は高く、硬度、ヨード反応指数及び着色指数は同程度、酸度は低い。

無袋ふじは、平年値と比較して、糖度は高く、着色指数はやや高く、硬度及びヨード反応指数は同程度、酸度は低い。

ふじ（有袋）の熟度の進み (10月1日現在)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程 度
黒 石 (りんご研)	本年	280	2.0	18.0	12.2	0.398	3.7	0	0.0
	平年	276	1.8	17.8	11.7	0.430	3.7	0	0.0
	前年	268	1.0	18.1	12.1	0.400	3.0	0	0.0

注) 1 平年：2003～2016年までの14年平均

2 除袋日：9月22日外袋、25日内袋

ふじ（無袋）の熟度の進み (10月1日現在)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程 度
黒 石 (りんご研)	本年	284	1.6	17.7	12.5	0.378	3.7	0	0.0
	平年	283	1.4	17.8	11.9	0.444	3.8	8	0.1
	前年	282	1.1	18.1	12.4	0.403	3.4	0	0.0

注) 1 平年：1996～2015年までの20年平均

2 着色指数：0～5 大きい数値ほど着色良好

3 ヨード反応：0～5 小さい数値ほどでんぷんが少ない

4 蜜入り程度：0～4 大きい数値ほど蜜発生大

(3) 作業の進み (10月2日現在)

トキの収穫は終盤、早生ふじの収穫が盛期となっている。

ジョナゴールドは除袋や葉摘みが終了した。ふじは除袋が終了し、葉摘みが行われている。

2 作業の重点

(1) 中生種の収穫

ア ジョナゴールド

収穫始めは、熟度の進みから判断して、黒石中心で有袋果が10月10日頃、無袋果が10月12日頃からと見込まれる。有袋果は10月17日頃まで、無袋果は10月22日頃までに収穫を終える。

収穫時期が早すぎると、貯蔵中にビターピットの発生が多くなる。遅すぎると無袋果は、果面の油あがりが多くなり、貯蔵中の軟化、ゴム病の発生が多くなるので、適期に収穫する。

ジョナゴールドの収穫時の標準指標

	食味	糖度	ヨード反応	硬度
有袋	3以上	13%以上	2.5以下	15～17ポンド
無袋	3.5以上	13.5%以上	2以下	14～16ポンド

イ シナノスイート

収穫始めは、平年よりやや早い10月7日頃と見込まれる。なお、収穫の目安は、糖度14%以上、ヨード反応2程度、硬度14ポンド程度である。

収穫時に地色が黄色く、油あがりが見られるような果実は、心腐れ果である可能性が大きいので、もぎ取り処分する。

ウ 千雪

収穫始めは、平年よりやや早い10月16日頃と見込まれる。収穫は、果皮色が濃紅色になった頃で、着色が揃わない場合は2回に分けて行う。

千雪の収穫時の標準指標

食味	糖度	ヨード反応	硬度
4以上	14%以上	1.5以下	17～19ポンド

(2) 中生種の収穫後の管理

収穫後すみやかに冷蔵施設への搬入や出荷を行う。ただし、千雪は、収穫後直ちに冷蔵庫に搬入すると軟性やけが発生しやすいので、収穫後は10℃程度のところに5～7日間保管してから冷蔵庫に搬入する。

(3) 晩生種の着色手入れ、樹上選果

葉摘みと並行して、果実に十分日光が当たるように、支柱の位置を動かしたり、小枝を縄で吊り上げたり、不要な徒長枝を切り取る。

また、肥大や形が悪い果実のほかに、病虫害被害果、障害果などを摘み取る。有袋果は、除袋後、丁寧に見直しを行う。

(4) 星の金貨、シナノゴールドの収穫

星の金貨、シナノゴールドなどの黄色品種は、収穫時期の判断が難しいので、食味や「黄色品種青森県標準カラーチャート」、「ハンドチャート」を活用し、適期に収穫する。なお、平年の収穫始めは、星の金貨が10月25日頃、シナノゴールドが10月26日頃である。

ア 星の金貨

表面色指数4以上の果実が全体の半量に達したら1回目の収穫を行い、2回目以降の収穫は1週間以内を目処に完了する。

一斉収穫の場合は、樹中の平均的な果実の表面色指数が4～5に達した時期に収穫する。

なお、表面色指数5以上の果実は、貯蔵中に裂果が発生する恐れがあるので年内販売とする。

イ シナノゴールド

表面色指数5の果実が全体の半量に達したときを収穫の目安とする。

収穫時期が早すぎると酸味が強く食味が劣り、遅すぎると油あがりが多くなるので適期に収穫する。

星の金貨の収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応 (0～5)	硬度 (lbs)	表面色指数 (1～6)
4以上	14%以上	2.5以下	14～16ポンド	4以上

シナノゴールドの収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応 (0～5)	硬度 (lbs)	表面色指数 (1～6)
3.5以上	14%以上	1.5以下	14～16ポンド	5

注) 1 ヨード反応：0～5 小さい数値ほどでんぷんが少ない

2 表面色指数：「りんご黄色品種 青森県 標準カラーチャート」指数



↑ハンドチャート
 ←りんご黄色品種 青森県 標準カラーチャート
 ※お問い合わせ先：公益財団法人青森県りんご協会
 電話 0172-27-6006

(5) 風害防止対策

台風による強風被害に備え、防風網やわい性台樹の結束などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

また、幹や主枝などに空洞が生じている樹や、腐らん病の被害等を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は、倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

(6) 黒星病対策

黒星病の発生園地では、病原菌の密度を下げるため、葉摘み等の作業の際にも、被害果や被害葉を摘み取り、土中に埋めるなど適正に処分する。

特に、二次伸長葉に黒星病の病斑が見られる場合は、来年の伝染源となるので、見つけ次第葉を摘み取り処分する。

(7) 果実疫病対策

ア 収穫直前まで

反射シートを片づける際には、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土は、あらかじめ洗い落としておく。

イ 収穫時

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。

落果や収穫の際に落とした果実は、収穫果に混入させない。

ウ 収穫後

収穫果は、長く野積みしない。

(8) モモシンクイガ被害果の除去

モモシンクイガによる被害果を流通させないために、収穫した果実は、選果時に徹底して選別する。被害果は見つけ次第、7日以上の水漬けなど適切に処置をする。

(9) 鳥害防止対策

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が大きいところでは、防鳥網を使用する。なお、防鳥網の網目は、35mm以下とする。

(10) 炭疽病等被害果の除去

被害果は見つけ次第摘み取り、土中に埋める。

(11) 腐らん病対策

胴腐らんの治療部を再点検し、病斑の伸展が見られる場合は直ちに適切な処置を行う。

(12) 野ネズミ対策

野ネズミの繁殖期なので、エサとなるりんごや野菜の残渣等を放置しないようにする。

3 今後の作業予定

- (1) 晩生種の着色手入れと収穫 (2) 果実疫病対策 (3) 風害防止対策

次回の「りんご生産情報」第13号は10月25日(水)発表の予定

－ 樹上選果推進期間（8月下旬～収穫期） －

美味しいりんごを届けよう！

農業機械事故が多発しています！農作業安全を心がけましょう！

地域ぐるみで放任園の発生防止と解消に努めましょう！

連絡先 : りんご果樹課生産振興グループ
電話番号 : 017-722-1111代表
 内線 5094, 5092
 017-734-9492直通